

福島第一原子力発電所の状況

平成 27 年 2 月 27 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (2/27 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h	15.2 °C	4.2 kPa g	A系： 0.01 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.02 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h	20.3 °C	6.63 kPa g	A系： 0.05 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.03 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h	17.9 °C	0.22 kPa g	A系： 0.06 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.06 vol%

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (2/27 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	13.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	27.3 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	21.9 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	8.4 °C

※ 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘッドラジンの注入を適宜実施。

【2号機】

・H27/2/26 9:10 使用済燃料プール(以下SFP)代替冷却系について、SFP代替冷却系の弁点検作業およびSFPコンプレッサーユニットの固定作業を行うため停止。冷却停止時のSFP水温度は 26.8°C。その後、作業が終了したことから、同日 19:28 にSFP代替冷却系を起動。運転状態に異常なし。
なお、同日 21:25 のSFP水温度は、冷却停止時の 26.8°Cから 27.4°Cまで上昇したが、運転上の制限値 65°Cに対して余裕があることから、SFP水温度の管理上は問題ない。

【6号機】

・6号機使用済燃料プール冷却浄化系(以下、「FPC」)については現在運転中だが、計器定例点検を行うため、3/2 から 3/3 にかけて約 30 時間停止する予定。
使用済燃料プール(以下、「SFP」)水温度は、2/27 16 時現在で 17.1°Cであり、冷却停止時間におけるSFP水温度上昇率は 0.264°C/hで、停止中のSFP水温度上昇は最大で約8°Cと評価されることから、運転上の制限値65°Cに対して余裕があり、SFP水温度の管理上問題ない。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→	3号機タービン建屋	2/25 10:32 ~2/27 9:57 移送実施
3号機	3号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	2/23 10:39 ~ 移送実施中

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (2/27 11:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置(サリー)	淡水化装置(逆浸透膜)	淡水化装置(蒸発濃縮)	多核種除去設備(ALPS)	増設多核種除去設備	高性能多核種除去設備
運転状況	運転中*1	停止中*1	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転	ホット試験中*2	ホット試験中*2	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<5. その他>

・H27/2/27 11:19 頃、4号機タービン建屋1階南側エリアの漏えい検知器が動作し、当社社員が現場確認に向かっていたところ、同日 11:23 に解除。その後、再度 11:42 に検知器が動作。漏えい範囲は、約 20m×6m×深さ最大約1cm。なお、建屋外への漏えいはない。

現場を確認したところ、漏えいした水はタービン建屋補機冷却系の水抜き作業に起因するものであり、汚染水ではないことを確認。念のため、当該漏えい水の分析を行った結果は以下のとおり。

<4号機タービン建屋1階漏えい水> (13:40 採取)

Cs-134: 2,500Bq/L

Cs-137: 8,700Bq/L

この値は、タービン建屋滞留水と比較して低い値であることを確認。漏えいした水については、タービン建屋地下へ移送処理を実施。

・H27/2/27 第二モバイル型ストロンチウム除去装置の装置3については、これまで原子力規制庁による検査にて通水試験等を実施していたが、設備や機能に異常がないことが確認されたことから、14:16 に連続運転を開始。運転後の状況については、14:30 に漏えい等の異常がないことを確認。

当該装置は、必要に応じ吸着塔の交換やフィルター洗浄のため、一時的な運転停止を行いながら処理を継続していく。

なお、当該装置の運転は、合計4基の装置の運転を予定しているが、本日までに3基(装置2、3、4)の運転を開始。残りの1基(装置1)については、運転を開始した際にお知らせ予定。

・H27/2/5 ~ 3号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。

H27/2/14~ 4号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。

H27/2/24~ 2号機海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を開始。

・H26/6/2~ 陸側遮水壁工事を開始。

【地下水バイパス揚水井の状況】

・地下水バイパス揚水井 No.1~12 のサンプリングを継続実施中。

・地下水バイパス一時貯留タンクグループ2の当社および第三者機関による分析結果[採取日 2/17]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔サンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。